

下垂体腫瘍

下線は基本的に必ず行う検査

1. 下垂体ホルモン基礎値測定, 甲状腺ホルモン, その他を測定
GH, LH, FSH, TSH, PRL, ACTH, cortisol, ADH, 血漿浸透圧、
尿浸透圧(随時尿) IGF-1, IGFBP, fT3, fT4, TSH, DHEA-S
2. 抗下垂体抗体 (保険適応外であり、必ず保険適応外検査申請書を提出すること)
3. 性腺ホルモン測定 (テストステロン、エストラジオール、エストリオール)
4. コルチゾール日内リズム
ACTH, cortisol を 9, 17, 21 時採血
5. デキサメサゾン抑制試験 (1mg, 8mg)
まずは 1mg 試験を施行: 前日 23 時デカドロン(0.5) 2T 1×内服
→翌朝 9 時、ACTH, cortisol を延食で採血
6. 17-OHCS, 17-KS, 尿中コルチゾール・・・普通蓄尿
7. 75g OGTT - 0, 30, 60, 90, 120 分のそれぞれ GH 測定, BS, IRI 測定
8. 四者負荷試験 (TRH 負荷試験+LHRH 負荷試験+GRH 負荷試験+CRH 負荷試験)
9. 単独 TRH 負荷試験 and/or LHRH 負荷試験 and/or GRH 負荷試験 and/or CRH 負荷試験
 - ・ microadenoma の場合はそれぞれの負荷試験または四者負荷試験を基本的に施行、
macroadenoma の場合はそれぞれ検討する。
 - ・ 四者負荷試験やデキサメサゾン抑制試験などの負荷試験は、コルチゾール日内変動や
尿中コルチゾールに影響が出るので、検査日程を十分考慮すること。
10. プロモクリプチン負荷試験: 消化器症状が出現する可能性のあることを事前に説明する
11. オクトレオチド負荷試験: 消化器症状が出現する可能性のあることを事前に説明する
12. 下垂体造影 MRI
13. 下垂体単純 CT (Hardy 手術用)
14. 耳鼻咽喉科受診・・・頭部CTで副鼻腔炎が指摘されることがあるので、Hardy 用 CT 施行後のレポートを確認して耳鼻咽喉科を受診すること。「下垂体腺腫に対して Hardy 術予定のため、耳鼻科疾患の有無の精査をお願いします」
15. 眼科受診・・・「下垂体腫瘍に対して hardy 術予定のため視野狭窄の有無、眼窩疾患の有無等精査をお願いします」
16. 腹部CT・超音波・・・MEN 除外のため。膵・副腎腫瘍の有無の精査。
17. 甲状腺・副甲状腺超音波・・・MEN 除外のため
18. 鼻腔内 MRSA 培養・・・細菌検査から、特定菌 (MRSA) の有無を培養。
19. 肺機能検査・・・術前検査。
20. 心 Echo
21. クレアチニンクリアランス・・・術前検査